

ディボーション質問表



11日(月) オバデヤ書 1:1~21節

正確な人物像と活躍時期はわからないが、多分ヨラム王の時代(B.C.848~841)にエドム人に対して預言した人物と思われる(11、20節より)。エドム人はイスラエル人の先祖ヤコブの双子の兄エサウの子孫です(創世記36章)。オバデヤ書は、エドム滅亡の預言(2~4節)、エドム滅亡の理由(10~14節)、主の日の預言(15~21節)に区分することができます。

1. 神様がエドムを裁く理由は何だと言われているでしょうか(1~4節)?
2. エドムは自然の要塞に住み、安心して豊かで頼れる同盟国がいて、英知と勇気を持つ民でした。そのような彼らに対して、神様はどうすると言われているですか(5~11節)?
3. すべての国が裁かれる中、だれが救われるのでしょうか(12~21節)? → 神様の主権を認めた謙遜な生き方ではなく、自分の力と人の力に頼り、自分の王国を築く高慢な歩みになっているところはないでしょうか?

12日(火) ヨナ書 1:1~17節 神の使命からの逃避

他の預言書と違ってヨナという人物の物語です。悔い改めと神様のあわれみをよく理解できるもので、また神様の主権はイスラエルだけでなく、全世界を治めて愛しておられる事を感じ取れます。

1. ヨナに与えられた神様からの使命は何でしょうか(1~2節)? ヨナはそれに対してどのようにしていますか(3節)? 彼の決断によって神様はどんな事を起こされますか(4節)?
2. くじはだれが支配しているのでしょうか(7節)? ヨナの神様はどのような方ですか(9節)?
3. 神様に逆らったヨナに、神様はどのようにされましたか(17節)?

13日(水) ヨナ書 2:1~10節 悔い改めの祈り

1. ヨナはどのような祈りを捧げていますか? 要素をみつけたし、わたしたちの祈りの生活に適用してみましょう。
2. 神様はヨナの祈りを聞き、どのようにされたでしょうか?

14日(木) ヨナ書 3:1~10節 ニネベでの宣教

1. ヨナの宣告を聞いた人々は、どうしたでしょうか(1~9節)?
2. ニネベの人々の姿をご覧になった神様は、どうされましたか(10節)?

15日(金) ヨナ書 4:1~11節 神に対する不満

1. 神様がしたことをヨナは喜びましたか(1~3節)? 神様はどのようなお方でしょうか?
2. 神様はヨナに何と言っていますか(4節)? → 私は、当然のように怒っている事柄はないでしょうか? よくよく思えばそうではないことはないでしょうか?
3. あわれみ深い神様がした事に怒っているヨナに何が起こりましたか(5~8節)?
4. 9~11節の言葉より、神様はどのようなお方だと思えますか?

16日(土) ミカ書 1:1~16節 イスラエル(2~7)とユダに対する審判(8~16)

ミカ(誰がヤハウエのようであろうかの意味)は、前742~686年頃(1:1)、イザヤと同時代に活動した預言者です(4:1~3はイザヤ2:2~4と類似しています)。イザヤの預言が、当時の支配者階級に向けられているのに対して、ミカは内政の腐敗、あるいは偽善的な宗教生活について民衆に語りかけているのが特徴である。ミカ書は、以下のように4つに区分することができます。1~3章(イスラエルとユダに対する告発)、4~5章(終末の王国についての預言)、6章(神のイスラエルに対する論争)、7章(預言者の祈り)です。

1. 遊女の罪とは何を象徴していますか? また、それを嘆くミカの行動から、神様は罪をどのように思っておられますか? あなたの罪に対する意識はどうでしょう。この世の流れに流されてしまいませんか?
2. ここに出てくる地名はそれぞれ、外国の偶像が入ってきた、またはその偶像礼拝の拠点となった地名です。イスラエルはなぜこのような偶像に心を奪われたのでしょうか? 人が偶像礼拝に走る、またはそれを受け入れてしまう過程について考えてみましょう。
3. 偶像礼拝を避ける最善の道は、創造の神様に目を向ける事にあります。人(自分も含む)にばかり、心に向けて、神様に心に向ける事を忘れてはいませんか?